

令和4年11月18日

「兆しレポート」のとりまとめについて カーボンニュートラルの進展による企業経営の変化の兆し ～中部地域のインターナルカーボンプライシングの活用実態～

カーボンニュートラル実現に向けた動きがグローバルで加速する中、ESG投資の拡大など金融市場の動きも相まって、気候変動対応と統合的な経営戦略が企業競争力の鍵となりつつあります。先の地域経済産業調査において、中部地域の企業においても、企業経営とカーボンニュートラル対応とを両立させる取組に動きがみられました。中部経済産業局では、こうした取組を加速させるものの一つとして注目が集まるインターナルカーボンプライシング（※）について、中部地域の企業の活用実態等をヒアリングを通じて把握し、導入事例や活用に向けて意識すべきポイントを取りまとめました。（※）企業等の組織が自らのCO₂排出に対して内部的に価格付けを行うこと。

1. カーボンニュートラル対応を経営課題として捉えた取組について

企業経営とカーボンニュートラル対応とを両立させる取組として、気候変動対策を重要課題と捉えた中長期の経営計画の策定や情報開示などに対して、中部地域の企業がどのように考えているかなど、ヒアリングを通じて得られた特徴的な声を掲載しています。

2. 中部地域におけるインターナルカーボンプライシングの活用実態

カーボンニュートラル実現に向けた企業経営を加速するものとして国内外から注目が集まるインターナルカーボンプライシングについて、中部地域の企業における活用実態や導入事例、さらには、こうした取組を支える「炭素会計」に関する民間資格の創設など、注目すべき声や取組を紹介しています。

（事例掲載企業等）

アイカ工業株式会社、日本特殊陶業株式会社、一般社団法人炭素会計アドバイザー協会

3. 企業経営の変化に関する考察

インターナルカーボンプライシングを導入又は導入を検討する企業の声や特徴的な導入事例の考察を通じて、カーボンニュートラル実現に向けた企業経営を加速させるためにインターナルカーボンプライシングを活用する場合には、社内の意識改革から企業成長までのストーリーを意識して取り組むことが重要であることなど、活用に向けて意識すべきポイントを取りまとめました。

（お問合せ先）中部経済産業局 企画調査課長 浅井 担当：佐藤
電話：052-951-2723（直通）